

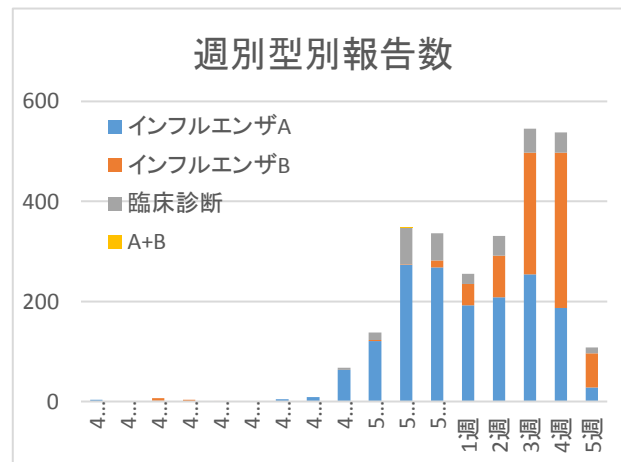
# 今シーズンのインフルエンザの状況

2018年1月30日

(1月29日までの報告です。)

	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週	51週	52週	1週	2週	3週	4週	5週	合計
インフルエンザA	3	0	1	0	0	0	5	9	63	121	273	268	192	208	254	187	28	1612
インフルエンザB	0	0	6	4	1	0	0	0	0	2	2	14	43	84	243	310	68	777
臨床診断	0	0	0	0	0	0	0	0	5	15	73	54	20	39	49	41	12	308
A+B	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
総診断数	3	0	7	4	1	0	5	9	68	138	349	336	255	331	546	538	108	2698

1月29日までの報告のまとめです。20の医療機関より2698例の報告がありました。  
 1月の岡山県のインフルエンザウイルス検出状況では、AH1pdm型4株、AH3型1株、B(山形系統)3株でした。  
 全国でのインフルエンザウイルス検出状況では、AH1pdm932株、AH3型361株 B(山形系統)504株でした。  
 市内流行しているインフルエンザAはAH1pdm(いわゆる新型)、インフルエンザBは山形系統と思われます。  
 インフルエンザBは左下のグラフから分かるように、2013-14と2015-16のシーズンに流行しました。  
 3学期に入り、常盤学区でインフルエンザBの流行が始まり、市内全体に拡大して流行しています。  
 インフルエンザAの報告数は減少していますが、常盤学区でもインフルエンザAの報告が出始めています。  
 教育委員会の出席停止者の報告数は1/29の時点で900例を越えました。例年1500例前後の報告があります。  
 2種類のインフルエンザに罹患する症例の報告も増えています。厳しい寒さが続きます。感染予防に努めて下さい。



認定こども園	215	33	15.3%
幼稚園	922	142	15.4%
小学生	3944	586	14.9%
中学生	1966	160	8.1%
合計	7,047	921	13.1%

発熱してすぐに受診する例も多いですが、比較的元気であれば、1日ほど経過をみてから受診してください。  
 ある程度時間がたって、ウイルスが増えないと検査で陽性にはなりません。  
 医師は、周囲で流行があり同様の症状であれば、検査をすることなくインフルエンザと診断して必要なら抗インフルエンザ剤を処方します。

